

タイトル 研究発表

学校名 神奈川県立横浜平沼高等学校 PTA

「生徒の学びを支援する～我ら平高応援団～」



横浜平沼高校について

## 1 はじめに

横浜平沼高校は、明治 33 年開校の歴史と伝統のある県立高校です。この度の発表にあたり、学校紹介ビデオの作成を、本校生徒会執行部に依頼したところ、とてもよくまとまった作品に仕上げてくださいました。お願いしたら、快く引き受けてくれる、そんな心優しい生徒たちのために、私たち PTA にできること、今日はそれをお伝えしたいと思います。

(学校紹介ビデオを紙面でお伝えできず残念です。表紙のみ、表題右に掲載いたしました)

## 2 PTA 組織、活動紹介

横浜平沼高校 PTA は、本部と、学年、成人、広報、環境整備の 4 つの委員会、そして保護者ボランティアによる「藤の会」とで活動しています。「藤の会」は、年度の初めに登録していただいた方に、「できる時にできることを」という形で、活動に参加してもらっています。

### 横浜平沼高校PTA



<b>本部</b>	<b>学年委員会</b>
会長	<b>成人委員会</b>
副会長	<b>広報委員会</b>
総務	<b>環境整備委員会</b>
会計	
会計監査	

### 藤の会(ボランティア)

#### ◆本部・ボランティア「藤の会」の活動

毎年 5 月に行われる体育祭では、生徒たちに冷たい飲み物を提供、6 月末から 7 月初旬に行われる

「文化祭」では「ふれあい喫茶」を開催しています。生徒や来場の皆様へ、飲み物とお菓子を無料で提供し、休憩の場として使っていただくと同時に、PTA の活動を知っていただく場ともなっています。いずれの活動も「藤の会」の協力によるも

### 本部

### 藤の会 (ボランティア)

#### ●体育祭 給茶サービス



#### ●校内草取り



#### ●平沼祭「ふれあい喫茶」



のです。また「藤の会」では校内草取り活動も行っています。

#### ◆学年委員会の活動

年 1~2 回のクラス懇談会の企画、「井戸端会議」と呼んでいる、先生方と 3 学年合同の懇談会の開催では進路関係の話など、参考になる話を先輩保護者から聞くことのできる会となっています。卒業式では桜茶と干菓子のサービスを行い好評です。

#### ◆成人委員会の活動

会員の教養を深め、親睦を図ることを目的として、バス研修旅行、観劇会、体験教室の企画・運営を行っています。どの企画も会員に大変好評で、参加した保護者は情報交換することで、子どもたちの高校生活を知る機会にもなっています。

#### ◆広報委員会の活動

年3回発行の広報誌は、盛りだくさんの写真が特徴的です。行事を取材し、生徒たちの生き生きとした姿を撮影しています。

#### ◆環境整備委員会の活動

春・秋・冬の年3回の花植えと、夏場の水やり、除草作業を行い、校内の花壇をいつも美しく整えています。このほか、ペンキ塗り作業も行っています。生徒たちの過ごす学校の環境整備に貢献しています。

### 3 「スタディショップ by PTA」の報告

#### ◆「スタディショップ by PTA」開催の理由

本校では、

- ・自ら考え表現し、主体的に行動する
- ・課題解決力を育成
- ・円滑な人間関係を構築

の3つの教育目標が掲げられています。

これらの実現のために PTA として、

「保護者の職業を生かし、進路選択やキャリア学習の役にたてるのではないか」

という視点から、この夏、「スタディショップ」と呼ばれる本校の夏期講習の一環として、

スポーツインストラクターである本部会計担当の出川さんによる「トランポリン体操」と、

日本語教師である会長の神長さんの「多言語でコミュニケーション」の2講座を、

『スタディショップ by PTA』

として開催いたしました。

#### ◆「スタディショップ by PTA その①～トランポリン体操～」



トランポリン競技はシドニーオリンピックから正式競技として採用され、日本人選手も多数活躍しています。今回は、あまり体験できず部活動にもないスポーツを体験する機会の提供を目的として企画しました。



当日は神奈川県トランポリン協会のご協力のもと、トランポリンを厚木より運んでいただき、PTAと協会関係者ととともに設置しました。2時間の体験メニューを2回開催し、合計で28名の生徒の参加がありました。ほとんどがトランポリン初体験でした。

まずは準備運動を行い、跳び方の説明を受けた後に実際にトランポリンの上で飛び跳ねてみました。



普段体験することのない空中間隔、不安定なベットに、最初はとても戸惑っている様子でしたが、数回跳んで慣れてくると、だんだんと高さがあがって行きました。

基本の跳び方をマスターして、連続技にもチャレンジしました。

この講座を通じて、新しいことに挑戦する勇気や楽しさを感じ取ってもらえたのではないかと思います。そして、そのような体験こそ、より高い目標や幅広い視野、柔軟な思考を養い、「自ら考え、表現し、主体的に行動する」という、本校の教育目標にもつながっていくと考えます。

◆「スタディショップ by PTA その②～多言語でコミュニケーション～」



本校は、グローバル教育研究推進校に指定されており、外部講師による英語の講演会や、英語スピーチ発表会、オーストラリアへの短期留学など多様な学びの機会がありますが、

今回は、英語圏以外の国の文化を肌で感じ、英語以外の外国語での交流を体験することを目的とした企画を考えました。

まずは、日本語学校に留学生の派遣を依頼し、日本語能力や国籍などから留学生を選び出しました。同じころ、校内では夏のスタディショップの募集要項が配付され、この講座の募集も始まりましたが、関心の高そうな生徒たちのオーストラリア短期留学と時期が重なったことなどもあり、なかなか参加申し込みが増えませんでした。悩ましい時期を過ごしながらも、留学生との打ち合わせや、アメ横に外国のお菓子やお茶を探しに行くなど準備を続けました。

そして当日。先生方や保護者の方にも広く声をかけていただき、35名の生徒の参加があり、6か国の留学生との賑やかな開催となりました。

お互いの緊張をほぐすため、ジェスチャーゲームで始めました。

フィリピン・トルコ・ベトナム・ネパール・インドネシア・ウズベキスタンの、それぞれのテーブルに分かれ、各国のお菓子や飲み物とともに、言葉や文化、習慣などについて、ワークショップを行いました。

各国の留学生からも、母国を紹介する写真などが提供され、質問しあうなど、お互いに高い関心を持つことができたようです。



また、同世代の仲間同士、最後は打ち解けたようでした。

終了後に行ったアンケートでは、

- ・英語以外の外国語にも興味が出た
  - ・印象が変わった
  - ・初めて聞く言葉が新鮮だった
  - ・ベトナムコーヒーが美しかった
  - ・エベレストの入山料が高くて驚いた
  - ・ウズベキスタンでロシア語を話すことを初めて知った
  - ・もっと知りたいと思った
- など、他国への関心を持つ契機になったと実感できるものばかりでした。



グローバル＝英語ではなく、より広い視野を持ち、教育目標の1つである、コミュニケーション能力や他者への思いやりを育み「円滑な人間関係の構築」につながる講座の開催が出来たのではないかと思います。

#### 4 まとめ

##### ◆PTAによる生徒の学びの支援とは

今回の「スタディショップ by PTA」は、初めての試みだったこともあり、PTA本部役員の中からの企画となりましたが、保護者の中には、もっといろいろな職業の人がいると思います。

生徒たちの知らない世界、なかなか知ることのできない世界を体験できる機会を提供することは、彼らの進路選択や、さらには、職業選択、キャリア選択の幅を広げていくことができるかもしれません。

今後は、さらに保護者の力、そして地域の力もお借りし、また、本校の頼もしいOBの力もお借りしながら、生徒たちの未来を応援できるPTA活動を行って行きたいと考えています。